

群馬県における職域での肝炎ウイルス検査受検及び受療促進の取り組み

研究分担者：柿崎 暁 国立病院機構高崎総合医療センター 臨床研究部 部長

研究協力者：戸島 洋貴 群馬大学医学部附属病院 肝疾患センター 病院講師

研究要旨：就労世代の治療促進のため、職域、とくに加入者数の多い全国健康保険協会（協会けんぽ）を対象に肝炎検査受検・受療の啓発活動を行う。令和元年度に、研究班版簡易リーフレットによる受診勧奨を群馬支部において水平展開し、簡易版導入施設は、肝炎検査数が前年度比較で5.23倍、受検率が4.93倍に増加し、非導入施設（受検数0.71倍、受検率0.68倍）と比較し、有意に肝炎検査受検数・受検率が増加することを示した。令和2年度から、新たに協会けんぽ版の簡易リーフレットが導入されたため、研究班版簡易リーフレットの継続使用を含めた簡易リーフレットの効果検証を継続して行った。令和2年度集計では、肝炎検査数・受検率は低下したが、研究班版リーフレットを継続使用した施設の受検数、受検率は、他の施設に比べて減少幅が低かった。令和3年度の受検数・受検率は、簡易版リーフレット導入前と同程度にまで低下した。研究班版簡易リーフレットの導入初年度の効果は高かったが、簡易版リーフレットの効果は持続しなかった。リーフレット変更も要因として挙げられるが、コロナ禍の影響もあり慎重な解釈が必要であると考えられた。

A. 研究目的

群馬県内の職域における肝炎ウイルス検査受検率と受療率向上を目的とする。

C型慢性肝炎患者は自覚症状が乏しいことから、慢性肝炎から肝硬変・肝癌への進行を阻止するためには、肝炎ウイルス検査を受け、自身の感染を知り、適切な治療を受けることが重要である。直接作用型抗ウイルス剤（DAA）治療により、通院の負担が軽減され、就労世代の患者の治療アクセスも各段に向上し、就労世代の治療も促進された。しかし、一方で、未だ肝炎検診を受けていないため自身の感染を知らないキャリアや、感染を知っていても治療を中断し根治に至っていない患者も多く存在する。

本研究では、就労世代の治療促進のため、

職域の肝炎ウイルス検査の受検促進と検査陽性者の適切な治療導入促進を目的とした。加入者数の多い全国健康保険協会（協会けんぽ）を対象に肝炎検査受検・受療の啓発活動を行った。

B. 研究方法

職域での肝炎ウイルス検査受検促進のため、以下の項目について啓発活動を行った。

- （1） 全国健康保険協会（協会けんぽ）でのウイルス検査受検促進
簡易リーフレットによる受検勧奨
- （2） 職域への出張型肝臓病教室
- （3） 職域の肝炎医療コーディネーター養成

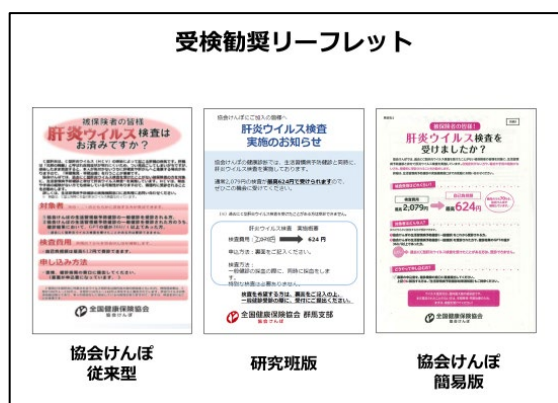
(倫理面への配慮)

個人情報に配慮し、院内倫理委員会の承認を得た。

C. 研究結果

(1) 協会けんぽでのウイルス検査受検促進

群馬県内の協会けんぽ受託医療機関は51施設である。令和元年度は、51施設の中で33施設が研究班方式、18施設が従来型を使用した。研究班方式を導入した33施設では、前年度と比較して、受検数5.23倍(受検率4.93倍)と増加したのに対し、非導入施設では受検数0.71倍(受検率0.68倍)であった。

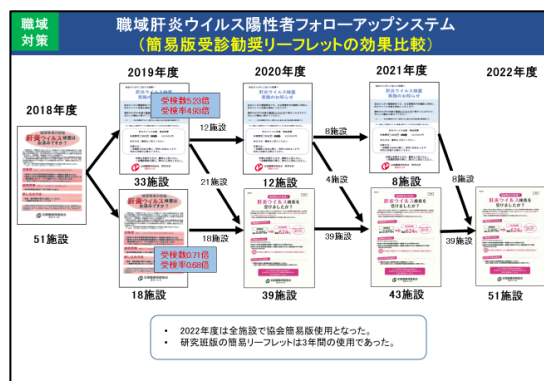


令和2年度から、協会けんぽ版簡易リーフレットが新たに導入された。

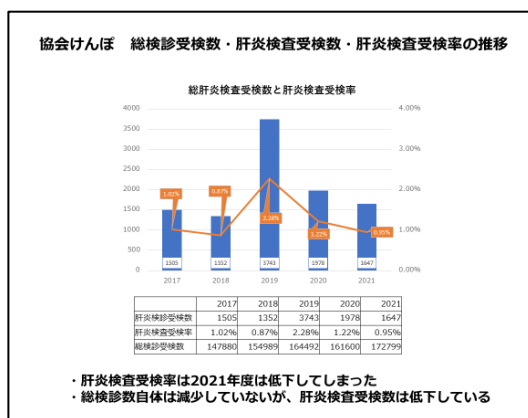
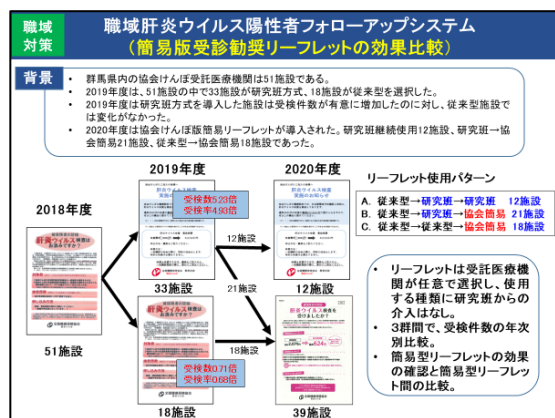
令和2年度に、研究班版を継続使用した

施設は12施設(A群)、協会けんぽ版使用は39施設であった。協会けんぽ版を使用した施設は、研究班版からの切り替え21施設(B群)、協会けんぽ従来型から簡易版への変更施設18施設(C群)であった。

令和3年度は、全施設で協会けんぽ簡易版を使用する方針となり、研究班継続使用群は、研究班+協会簡易版併用となった。令和3年度はA群12施設中の4施設が研究班版の使用を中止した。令和4年度は、全51施設が協会けんぽ版を使用した。

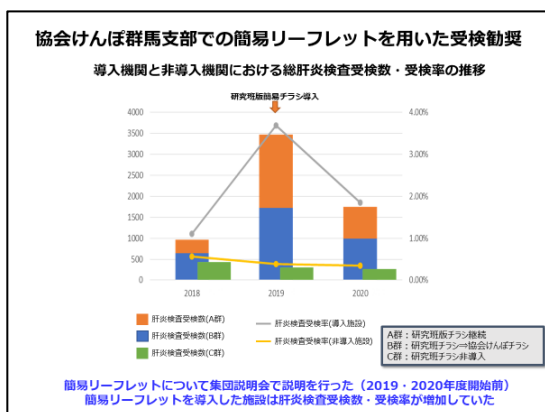


令和2年度の協会けんぽ健診受検数は前年度と比較して概ね横ばいであった(161,600件、令和元年度164,492件)。一方、肝炎検査受検数は約4割強減少し(3,743→1,978件)、受検率は1.22%(令和元年度2.28%)であった。令和3年度は、総検診受検者数は増加(172,799件)したが、肝炎検査受検数(1,647件)、受検率



(0.95%)は減少した。

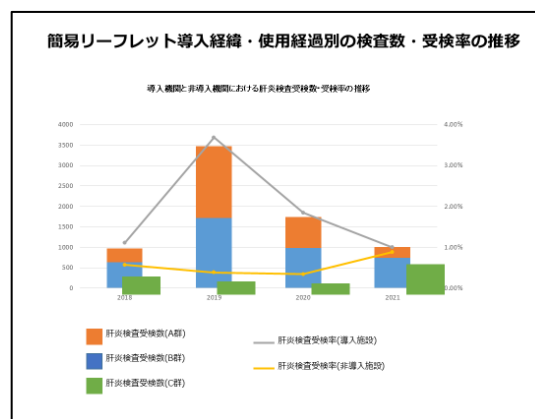
簡易リーフレット別、導入経過別の検討では、令和2年度は研究班版継続使用群の肝炎検査受検率は、他の群よりも有意に高かった。



協会けんぽ版を使用した施設間では、令和元年度から簡易型を導入している施設の方が、令和2年度に初めて導入した施設に比べ有意に受検率が高かった。令和2年度に初めて協会けんぽ版簡易リーフレットを導入した施設は、簡易リーフレット導入後も受検数・受検率は増加していなかった。令和2年度は、コロナ禍のため、全体説明会での簡易リーフレット使用説明が出来なかった。簡易リーフレットの導入に加え、適切な使用方法の指導も重要である可能性が示唆された。研究班版を継続した群は、他の群と比較して受検率が高かったが、リーフレットの選択は任意のため、施設の意識の違いなどの選択バイアスがある点も考慮する必要があると考えられた。

令和3年度の各群の受検数・受検率は、簡易版リーフレット導入前と同程度にまで低下した。導入初年度の研究班版簡易リーフレットの導入効果は高かったが、2年後の令和3年度では、簡易版リーフレッ

トの効果は認められなかった。リーフレット変更も要因として挙げられるが、コロナ禍の影響もあり慎重な解釈が必要であると考えられた。



(2) 職域への出張型肝臓病教室

職域の肝炎検査に対する意識を高めるために、県内企業に出向き、出張型肝臓病教室を行っていたが、令和2年度以降は、コロナ禍のため現地開催での依頼はなかった。そのため、肝臓病教室をWEB開催とし、職域へ視聴を呼び掛けた。

(3) 職域の肝炎医療コーディネーター

肝炎医療コーディネーター研修会への参加を、企業の保健管理部門に所属する看護師、保健師へ呼びかけ、職域の肝炎医療コーディネーターを養成し、職域での発活動の必要性を説明した。全体で令和3年度88名、令和4年度278名の肝炎医療コーディネーターを養成した。その内、職域においては、令和3年度11名、令和4年度8名の肝炎医療コーディネーターを養成した。企業以外の肝炎医療コーディネーターにも、職域における受診勧奨の必要性を呼び掛けた。

D. 考察

令和元年度に、研究班版簡易リーフレットによる受診勧奨を群馬支部において水平展開し、簡易版導入施設は、肝炎検査数が非導入施設と比較して有意に増加した。令和2年度より協会けんぽ版の簡易リーフレットが使用開始された。令和2-3年度の肝炎検査数・受検率は、令和元年度と比較し減少しており、簡易型リーフレット導入による検診数・受検率上昇効果は低下した。コロナ禍の影響もあり結論付けることは難しいが、簡易リーフレットの導入に加え、簡易リーフレットの種類、適切な使用方法の指導も重要である可能性が示唆された。

E. 結論

県内で職域での肝炎ウイルス検査受検・受療促進のための取り組みを行った。研究班版簡易型リーフレットによる受診勧奨の有用性が示唆されたが、リーフレットの種類や運用方法の課題も示唆された。

F. 政策提言および実務活動

<政策提言>

群馬県に受診勧奨・受診確認の重要性を提言した。その結果、令和5年度からの群馬県第3次肝炎対策推進計画策定に当たり、検査受検率増加、陽性者の受診率増加、フォローアップ事業参加率の増加、検査結果告知率の増加、肝炎医療コーディネーター配置率の増加が成果指標として採用された。

<研究活動に関連した実務活動>

研究班活動に加えて、群馬県肝炎対策協議会委員として、群馬県感染症・がん疾病

対策課、肝炎対策協議会、肝疾患診療連携拠点病院と連携し、群馬県内の肝炎に関する総合的な施策の推進活動及び肝炎撲滅対策に取り組んでいる。

G. 研究発表

1. 論文発表

1. 榎本 大、日高 勲、井上泰輔、磯田広史、井出達也、荒生祥尚、内田義人、井上貴子、池上 正、柿崎 暁、瀬戸山博子、島上哲朗、小川浩司、末次 淳、井上 淳、遠藤美月、永田賢治、是永匡紹. 肝疾患診療連携拠点病院における肝炎医療コーディネーター養成の現状. 肝臓 62巻2号 96-98. 2021.

2. 学会発表

1. 三上有香, 戸島洋貴, 中島有香, 柿崎 暁. 肝炎医療コーディネーターによる電子カルテを使用した非専門医へのHCV抗体陽性者受診勧奨. 肝臓 61 巻 Suppl. (1). A241. 2020.
2. ○戸島洋貴, 下山田めぐみ, 櫻井昇幸, 町田貴志, 堀口昇男, 柿崎 暁, 阿部毅彦, 高木 均, 群馬県肝炎対策協議会. 当県における肝炎医療行政の取り組み. 肝臓. 62巻Suppl(1). A233. 2021.
3. 三上有香, 戸島洋貴, 中島有香, 柿崎 暁. 肝炎医療コーディネーターの状況と眼科病棟コーディネーター養成の試み. 日本消化器病学会雑誌. 118 巻. A266. 2021.
4. 戸島洋貴, 中島有香, 三上有香, 阿佐見亮太, 柿崎 暁, 浦岡 俊夫. 多職種連携による肝がん重度肝硬変治療促進事業対象者の拾い上げ. 肝臓 63 巻 Suppl. (1). A237. 2022.

3. その他

啓発資材

群馬版簡易型受検申込書

啓発活動

1. ○柿崎 暁, 戸島洋貴: 市民公開講座企画運営 令和2年7月4日~10日
主催: 日本肝臓学会 WEB開催
2. ○柿崎 暁, 戸島洋貴: 群馬肝炎医療コーディネーター養成研修会企画
○戸島洋貴「肝臓の検査について」
○戸島洋貴「肝臓病の食事・日常生活の注意点」
○柿崎 暁「ウイルス性肝炎・肝硬変・肝臓について」
○柿崎 暁「肝炎に関する県の助成制度について」
令和2年9月24日~10月26日
WEB開催 主催: 群馬大学肝疾患センター 前橋市
3. ○柿崎 暁, 戸島洋貴: 市民公開講座企画 肝がん撲滅運動市民公開講座群馬県開催 2021
○戸島洋貴「肝臓病のお得な助成制度」
令和3年7月12日~30日
主催: 日本肝臓学会 WEB開催
4. ○戸島洋貴: 肝臓病教室
○戸島洋貴「ウイルス性肝炎の治療と治療後の通院の必要性について」
令和3年2月22日~3月22日
主催: 群馬大学肝疾患センター
WEB開催
5. ○柿崎 暁, 戸島洋貴: 群馬肝炎医療コーディネーター養成研修会企画
○戸島洋貴「肝臓の検査について」
○戸島洋貴「肝臓病の食事・日常生活の注意点」
○柿崎 暁「ウイルス性肝炎・肝硬変・肝臓について」
○柿崎 暁「肝臓病に対する群馬県の助成制度について」
令和3年10月13日~11月17日
主催: 群馬県・群馬大学肝疾患センター WEB開催
6. ○柿崎 暁, 戸島洋貴: 令和4年度群馬肝炎医療コーディネーター養成研修会 令和4年10月12日~11月16日 WEB開催
7. ○柿崎 暁, 戸島洋貴: 市民公開講座 日本肝臓学会肝がん撲滅運動 令

和4年7月25日~31日 WEB開催

8. ○柿崎 暁, 戸島洋貴: 令和4年度ウイルス性肝炎領域における群馬県医療安全講習会 令和4年7月27日
WEB開催

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得
なし
2. 実用新案登録
なし
3. その他
なし